

2026年3月期

# 決算補足説明資料

2026年5月12日

証券コード:3741

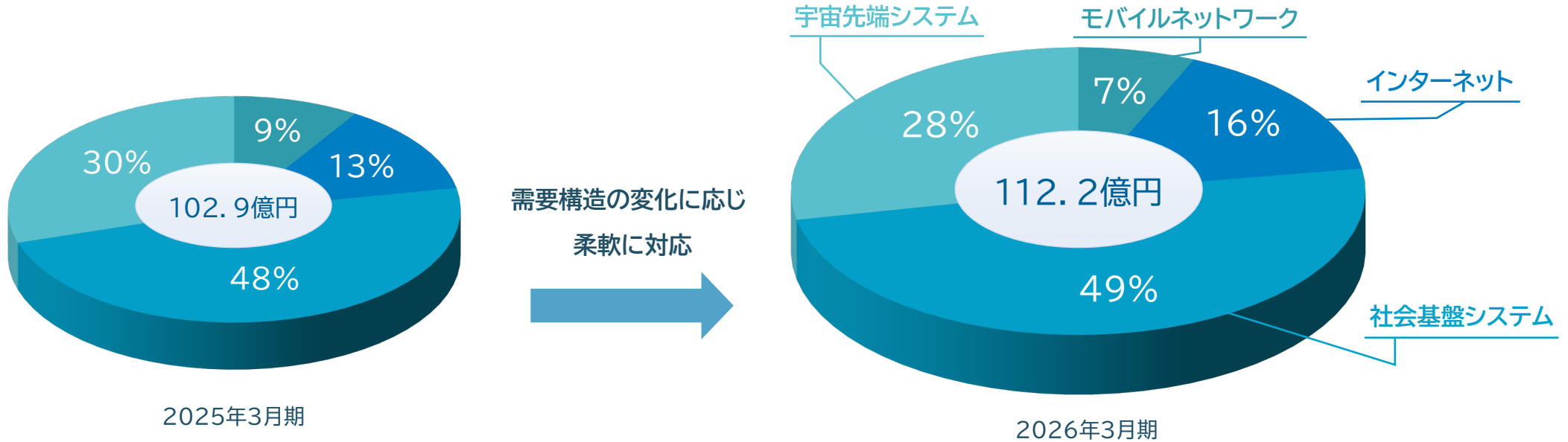


2026年3月期

# 決算概要

# 事業環境

## IT需要は全体的には概ね堅調



### モバイルネットワークBF

減少傾向が継続

### インターネットBF

非接触IC関連の開発が増加したことに加え、民間企業向けのDX関連の開発も増加

### 社会基盤システムBF

医療分野や環境分野の開発、司法分野をはじめとした官公庁向けの開発が大幅に増加

### 宇宙先端システムBF

車両自動走行の研究開発案件が堅調であることに加え、宇宙天文分野の開発が増加したものの、全体構成比では減少

# 2026年3月期総括

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高  
前期比で9期連続の増収増益

	当期（百万円）	前期比	利益率
売上高	11,220	109.0%	
営業利益	1,879	104.8%	16.8%
経常利益	2,062	108.9%	18.4%
当期純利益	1,509	112.3%	

受注高、受注残高ともに過去最高  
受注高は前期比で11期連続の増加

	当期（百万円）	前期比
受注高	14,023	130.0%
受注残高	9,065	144.8%

## 先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す

非接触IC関連の開発や、医療分野、官公庁向けの開発が増加するなど、需要構造の変化に全BF最適化の視点で対応した。

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高となり、前期比で9期連続の増収増益となった。

受注高は過去最高となり、前期比で11期連続の増加、受注残高も過去最高となった。

# 損益計算書

	2025年3月期 (百万円)	2026年3月期 (百万円)	前期比 (%)	期初予想 (百万円)	計画達成率 (%)
売上高	10,295	11,220	109.0	10,700	104.9
売上原価	7,224	7,893	109.3	7,470	105.7
売上総利益	3,070	3,326	108.3	3,230	103.0
販売管理費	1,277	1,446	113.3	1,390	104.1
営業利益 (営業利益率)	1,793 (17.4%)	1,879 (16.8%)	104.8	1,840 (17.2%)	102.2
経常利益 (経常利益率)	1,893 (18.4%)	2,062 (18.4%)	108.9	2,010 (18.8%)	102.6
当期純利益	1,344	1,509	112.3	1,395	108.2

**売上原価** 外注費(4,115百万円、前期比9.2%増/売上高外注比率36.7%、前期比0.1%増)、仕入高(607百万円、前期比77.5%増)が大幅に増加、定期昇給・ベースアップにより人件費が増加

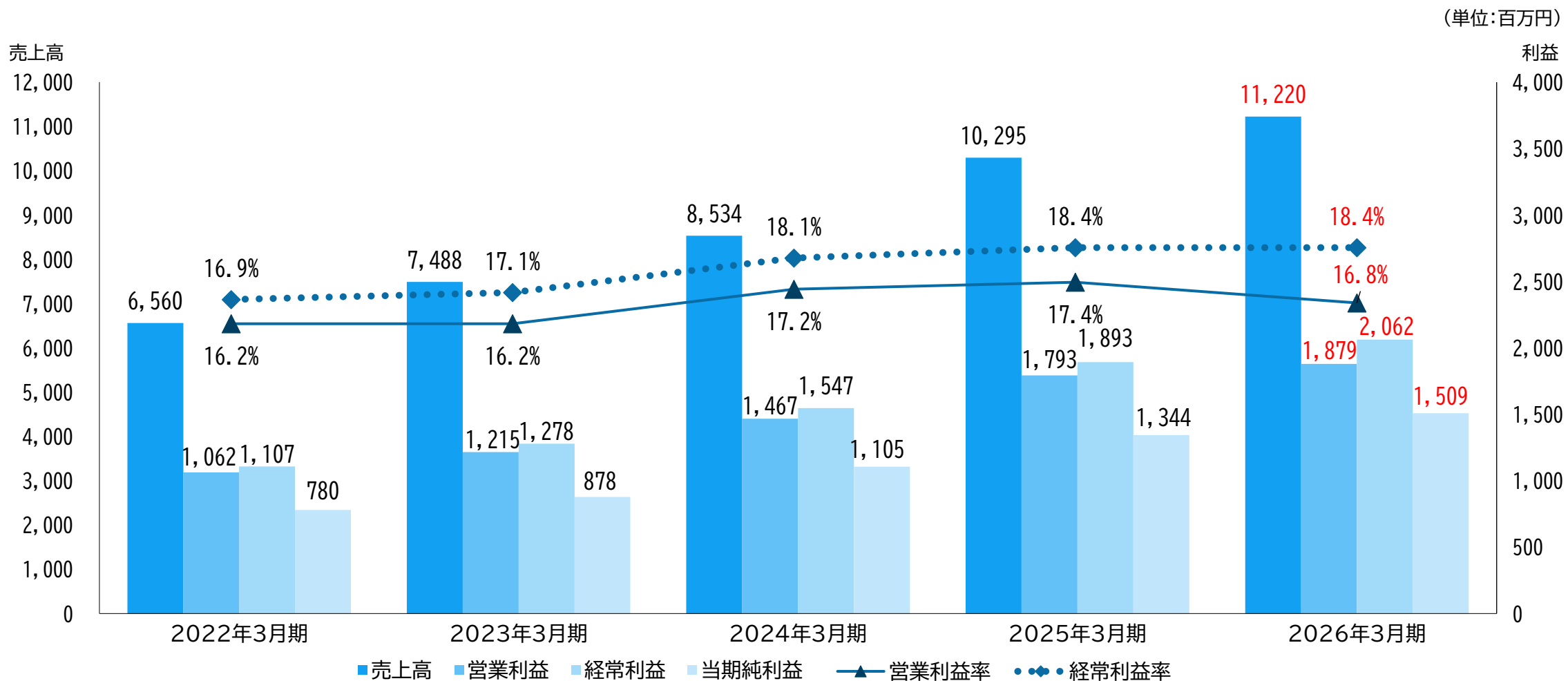
**販売管理費** 新入社員の増加、定期昇給・ベースアップにより労務費が増加、研究開発費は217百万円で、前期比で43.8%増

**営業外損益** 研究開発の補助金収入が大幅に増加(109百万円、前期比179.2%増)

**当期純利益** 賃上げ促進税制の適用による税額控除で法人税等負担率が低下(法定実効税率30.62%に対し、法人税等負担率26.82%)

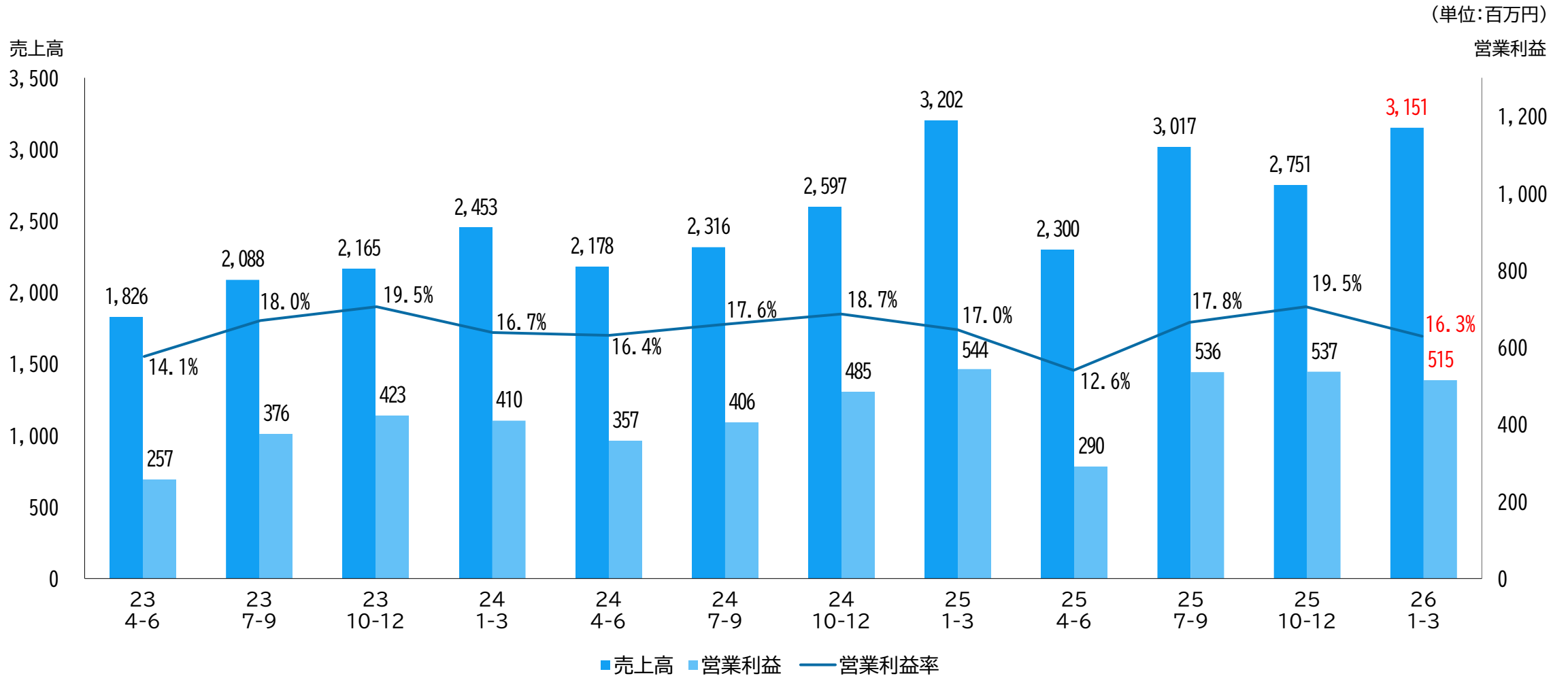
# 決算業績推移(過去5年)

9期連続の増収増益で、売上高、利益ともに過去最高



# 四半期業績推移(PL)

第1四半期は増収減益、第2、第3四半期は増収増益、第4四半期は減収減益

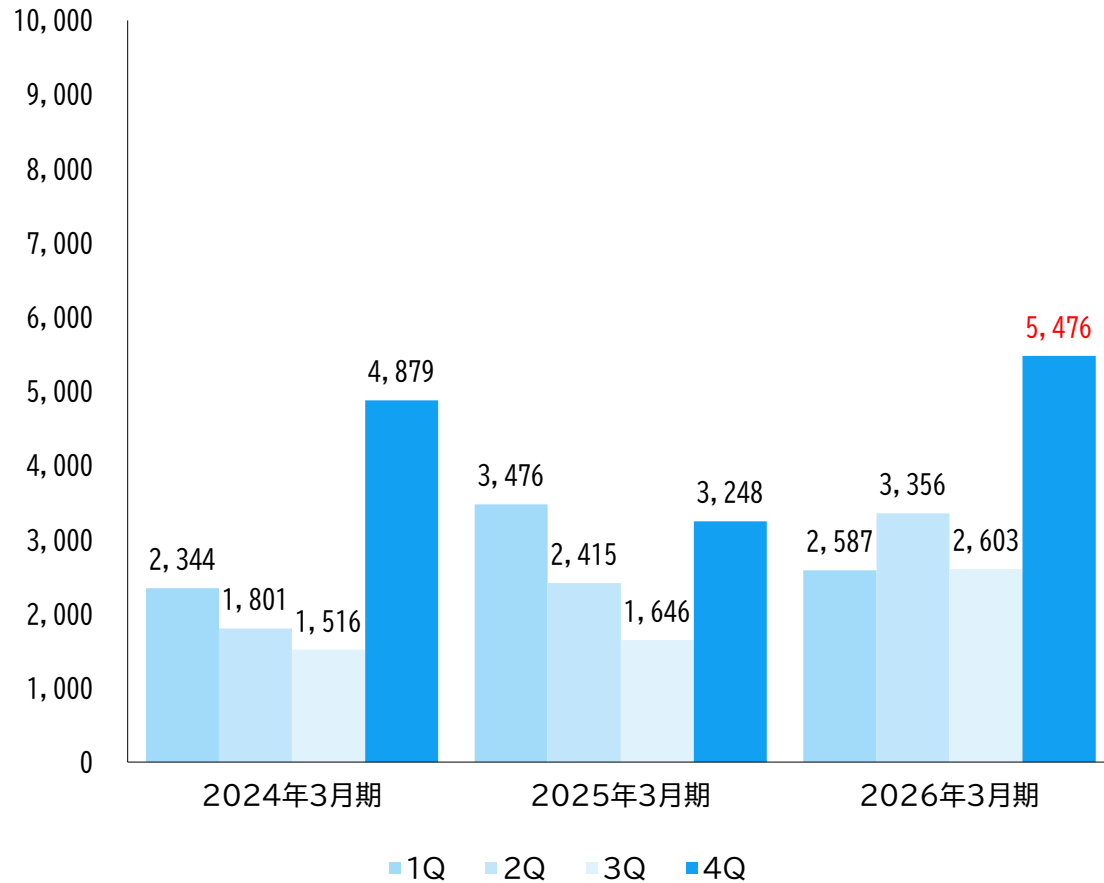


# 四半期業績推移(受注状況)

受注高は第1四半期を除き過去最高、受注残高は第3、第4四半期で過去最高

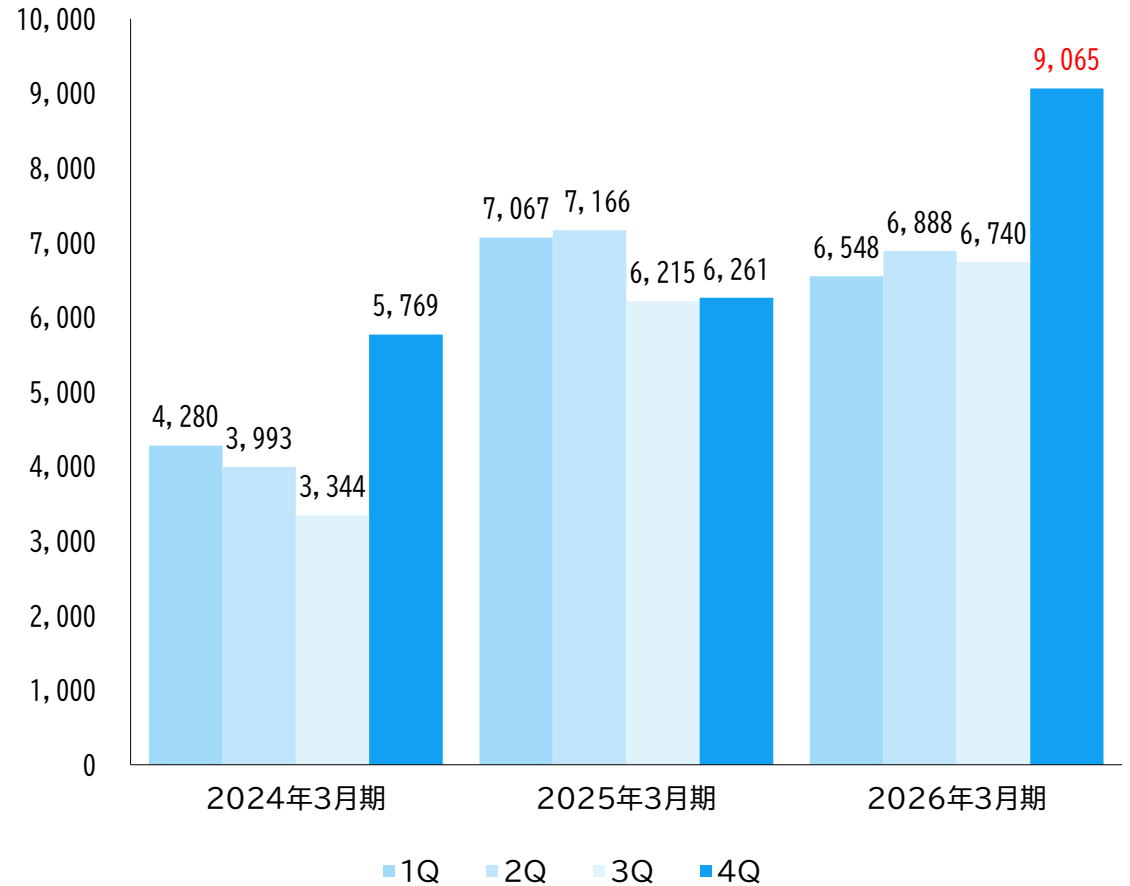
(単位:百万円)

受注高



(単位:百万円)

受注残高



## BF別の状況

### インターネットBF、社会基盤システムBF、宇宙先端システムBFが増加

ビジネスフィールド	2025年3月期		2026年3月期		前期比 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
モバイルネットワーク	922	8.9	740	6.6	80.3
インターネット	1,336	13.0	1,784	15.9	133.5
社会基盤システム	4,972	48.3	5,537	49.3	111.3
宇宙先端システム	3,064	29.8	3,158	28.2	103.1
合計	10,295	100.0	11,220	100.0	109.0

- モバイルネットワークBFは、減少傾向が継続
- インターネットBFは、非接触IC関連の開発が増加したことに加え、民間企業向けのDX関連の開発も増加
- 社会基盤システムBFは、医療分野や環境分野の開発、司法分野をはじめとした官公庁向けの開発が大幅に増加
- 宇宙先端システムBFは、車両自動走行の研究開発案件が堅調であることに加え、宇宙天文分野の開発が増加

# BF別受注状況

## 社会基盤システムBF、宇宙先端システムBFが大幅に増加

ビジネスフィールド	2025年3月期		2026年3月期			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	前期比 (%)	受注残高 (百万円)	前期比 (%)
モバイルネットワーク	866	178	889	102.7	328	183.9
インターネット	1,442	429	1,809	125.4	454	105.9
社会基盤システム	5,482	4,833	7,950	145.0	7,246	149.9
宇宙先端システム	2,995	819	3,373	112.6	1,034	126.2
合計	10,787	6,261	14,023	130.0	9,065	144.8

※ 受注残高のうち、2027年3月期売上貢献分は6,658百万円(前期比41.5%増)、2028年3月期以降売上貢献分は2,406百万円(前期比54.7%増)

- モバイルネットワークBFは、一部大手通信事業者向けの大規模案件により受注が増加
- インターネットBFは、非接触IC関連や民間企業向けのDX関連の受注が増加
- 社会基盤システムBFは、官公庁向けの受注が増加
- 宇宙先端システムBFは、車両自動走行の研究開発案件や宇宙天文分野の受注が増加

2027年3月期

# 今期業績見通し

# 2027年3月期業績見通し

## 継続的な成長を目指し、売上高、利益ともに増加の計画

	2026年3月期実績(百万円)	2027年3月期業績予想(百万円)	前期比(%)
売上高	11,220	11,800	105.2
売上原価	7,893	8,160	103.4
売上総利益	3,326	3,640	109.4
販売管理費	1,446	1,660	114.7
営業利益 (営業利益率)	1,879 (16.8%)	1,980 (16.8%)	105.3
経常利益 (経常利益率)	2,062 (18.4%)	2,300 (19.5%)	111.5
当期純利益	1,509	1,575	104.3

**売上高** 前期と同様の需要環境を見込み、官公庁主体の社会基盤分野のビジネスを中心に推進し、前期比約5%増を見込む

**売上原価** 社員数増加や、定期昇給に加えベースアップによる人件費の増加、外注費の増加などにより、増加を見込む





**販売管理費** ベースアップなどによる労務費の増加、研究開発の大幅な増加などにより、増加を見込む

**営業外損益** 研究開発の補助金収入の増加などにより、増加を見込む

**当期純利益** 前期は賃上げ促進税制の適用により増加したが、今期は税金費用を法定実効税率どおりで計算

# 2027年3月期BF別業績見通し

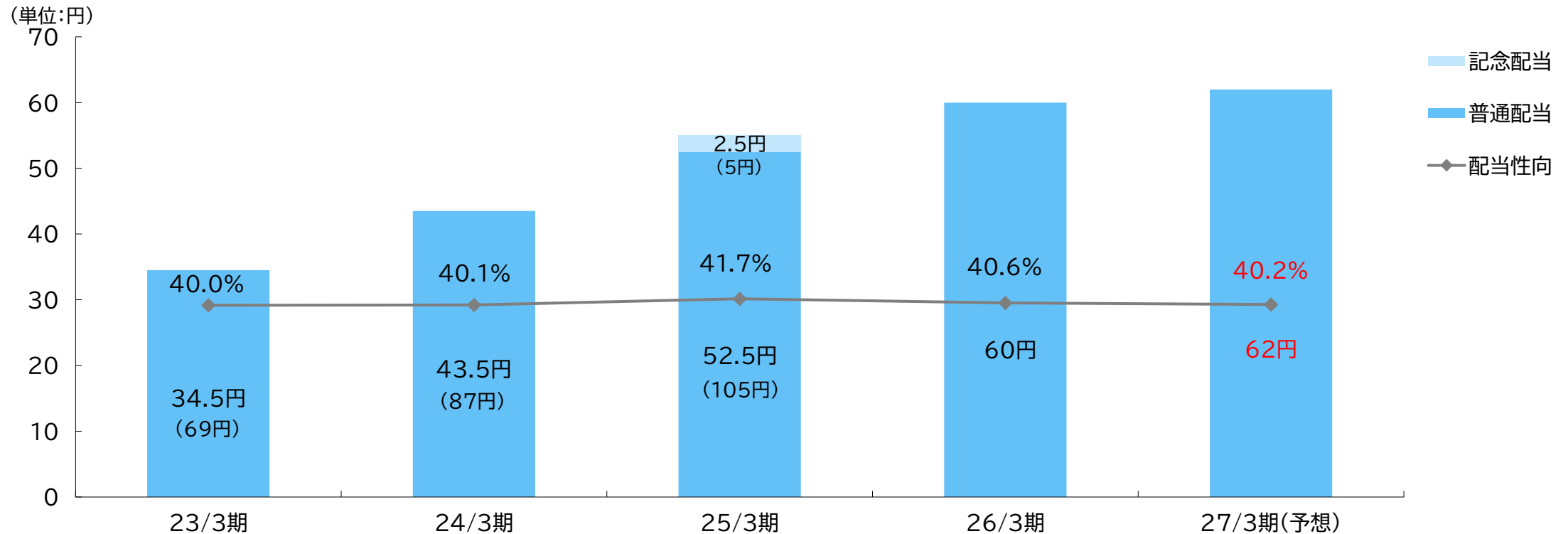
## 社会基盤システムBF、宇宙先端システムBFが増加する見込み

ビジネスフィールド	期初の想定	予想
モバイルネットワーク	一部大手通信事業者向けの大規模案件の開発があるものの、全体的には減少	
インターネット	民間企業向けのDX関連の開発が増加するものの、他のBFとの人員配分の最適化により、減少	
社会基盤システム	医療分野や環境分野の開発、司法分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調で、増加	
宇宙先端システム	車両自動走行の研究開発案件や宇宙関連の開発が堅調であることに加え、国の研究機関向けが増加し、増加	

# 配当の方針

## 配当性向40%を目安とし、前期比で每期増配の方針

2027年3月期は、1株当たり62円の配当予想とする。



※2025年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しておりますが、2023年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算出しております。  
( )は株式分割前の金額。

## ご参考: ニュースリリース一覧(2026年1月~4月)

2026年		
1月15日	<u>ロボット開発技術探求プロジェクト「SETAGAYA Eclipse」がロボット競技エンジニア選手権CoRE-1に挑戦</u>	3月 9日 <u>「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」に認定</u>
1月27日	<u>駐車場状況判断サービス「Rtrilo Parking Monitor」が西日本のパーキングエリアに採用</u>	4月 9日 <u>AI・人工知能EXPO 出展</u>
1月31日	ラジオNIKKEI & プロネクサス共催「企業IR & 個人投資家応援イベント」(名古屋)にて企業IRセミナーを開催	4月10日 <u>量子コンピューティングEXPO出展</u>
2月 4日	<u>個人投資家向け会社説明会(Webセミナー)を開催(2026年2月16日開催)</u>	4月14日 <u>Kaggle「第7回全国医療AIコンテスト」にて当社社員参加チームが優勝</u>
2月10日	<u>宇宙戦略基金(第二期)「月面インフラ構築に資する要素技術」に採択</u>	4月21日 <u>「2026年度 世田谷ITカレッジ」開講</u>
2月18日	<u>JAXA宇宙探査イノベーションハブ Moon to Mars Innovation 第13回研究提案募集に共同研究先として採択内定</u>	
3月 6日	<u>技術専門書「リザーコンピューティング~技術の現在地と最新動向~」に当社社員が技術解説を執筆</u>	
3月 6日	<u>世田谷区「ハローキャリアワーク」小・中学生向け宇宙ロボットプログラミング講座を開催(2026年4月3日・11日開催)</u>	

- この資料の目的は、当社へのご理解を深めていただくためのIR情報をご提供することであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資につきましては、ご自身でご判断願います。
- この資料には、当社の現在の計画、戦略、将来の業績に関する見通しなどが記載されております。こうした記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化しうることをご承知おきください。
- この資料の作成に際しましては、細心の注意を払っておりますが、内容につきましていかなる保証を行うものでなく、この資料を使用したこと  
によって生じたあらゆる損害などについて、当社は一切責任を負うものではありません。

